

平成30年度

教職2～3年次研修

実施要項

三重県教育委員会
研修推進課

平成30年度教職2～3年次研修実施要項

1 目的

本研修は、教職経験1年を経過した教諭等が、今日的教育課題や自己の教育課題について最新の知見や対応方策に関する知識を身に付け、実践力を磨き、教職としての基礎・基盤を固めることを目的とする。

2 実施主体

三重県教育委員会（以下「県教育委員会」という。）は、県教育委員会が実施する初任者研修を受講した2年目及び3年目の教諭等を対象に、教職2～3年次研修を行うものとする。

3 対象者

平成30年度教職2～3年次研修の対象者は、平成28年度及び平成29年度初任者研修対象の教諭等とする（養護教諭、栄養教諭は含まない。）。

4 研修概要

- (1) 各回の研修は「平成30年度教職2～3年次研修実施要領」に従い実施する。
- (2) 研修の実施にあたり、対象者は、「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」に基づき、自己の教育課題等に応じて「研修受講計画書」（様式1）を作成する。
- (3) 県教育委員会が定める研修（社会体験研修2日、授業研究1単位、教育課題別研修3単位、ネットDE研修2単位）を受講する。

第1・2回	社会体験研修	2日（1日は5時間以上）
第3回	授業研究	1単位（原則1限分の提案授業と事後協議）
第4～6回	教育課題別研修	3単位（1単位は2時間以上の研修講座）
第7・8回	ネットDE研修	2単位（ネットDE研修2番組受講で1単位）

- (4) 平成28年度初任者研修対象者は平成29年度・平成30年度の2年間に、平成29年度初任者研修対象者は平成30年度・平成31年度の2年間に、原則として受講する。単年度で全ての研修を受講することも可とする。
- (5) 年度末に研修の成果を振り返り、対象者は「研修受講報告書」（様式2）を作成する。

5 研修計画

- (1) 教職2～3年次研修が、「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」に基づく実践的指導力の向上に資するものとなるよう、対象者は研修の実施にあたり校長の指導、助言を得て「研修受講計画書」を作成する。
- (2) 校長は、対象者が作成した「研修受講計画書」を確認のうえ、当該教育委員会事務局へ提出する。
- (3) 「研修受講計画書」は、平成30年度に受講する研修についてのみ作成する。作成の際は、「実施要領」「記入例」等を参照する。
- (4) 「研修受講計画書」の提出後に研修内容等を変更する場合は、対象者は校長と相談のうえ決定する。「研修受講計画書」を再度提出する必要はない。
- (5) 平成28年度初任者研修対象者は、平成30年度に受講する研修についてのみ作成する。

6 研修報告

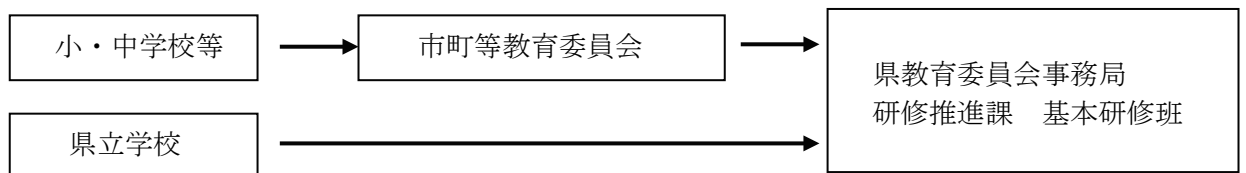
- (1) 対象者は、研修の成果を振り返り、まとめとして「研修受講報告書」を作成する。
- (2) 校長は、対象者が作成した「研修受講報告書」を確認のうえ、当該教育委員会事務局へ提出する。
- (3) 「研修受講報告書」は、平成30年度に受講した研修についてのみ作成する。作成の際は、「実施要領」「記入例」等を参照する。

7 教職2～3年次研修に関わる提出文書

提出物	県教育委員会への提出締切	備考
研修受講計画書 (様式1)	平成30年 6月 5日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に受講する予定の研修についてのみ記入する。(平成30年度受講する予定が全くない場合は、計画書上部の欄のみ記入し、空欄で提出する。) ・対象者が病休・育休等の場合で、1年間研修の受講が見込まれない場合は、計画書上部の欄のみ記入し、空欄で提出する。
研修受講報告書 (様式2)	平成31年 2月26日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に受講完了した研修についてのみ記入する。(平成30年度受講した研修が全くなかった場合は、報告書上部の欄のみ記入し、空欄で提出する。) ・対象者が病休・育休等の場合で、受講した研修が全くなかった場合は、報告書上部の欄のみ記入し、空欄で提出する。

- (1) 市町等教育委員会事務局への提出締切は、これより早い日程を、各市町等教育委員会が設定する。
- (2) いずれの提出文書も電子媒体にて提出する。(公印不要)
- (3) 様式は県教育委員会事務局研修担当(三重県総合教育センター) Webページ(トップページの「1 研修講座 15 提出書類様式 3 教職2～3年次研修」)からダウンロードできる。(http://www.mpec.jp/)

8 提出物の流れ



9 その他

この要項に定めるもののほか、教職2～3年次研修に関する事項は県教育委員会が別に定める。

平成30年度教職2～3年次研修実施要領

第1・2回	区 分	【必修】社会体験
	研修講座名	社会体験研修

1 ねらい

民間企業や福祉施設等で社会体験をすることにより、視野の拡大や発想の転換、地域とのネットワークづくり等を促進し、教諭等としての資質向上を図るとともに心豊かで創意あふれる学校教育の実現をめざす。

2 主 催

三重県教育委員会

3 日 数

- (1) 2年間で2日受講する。ただし2日間連続とする必要はない。
- (2) 1日の研修時間は5時間以上とする。

4 対象者

平成30年度教職2～3年次研修対象者

5 研修先

対象者は研修のねらいを踏まえながら、本研修をとおして何を学び、どのように教育活動に活かすかを考え、研修先を選定する。

- (1) 対象者は、校長と相談のうえ研修先を選定する。
- (2) 対象者は、研修先と相談し計画を立て、校長の承認を得て決定する。
- (3) 2日とも同一の施設等で実施することが望ましい。
- (4) 研修先として想定されるものは、次のとおりである。
 - ア 企業等（農林水産業、建築・土木、製造業、電気・ガス、不動産関係、金融・保険、情報・通信、サービス・流通、運輸業等）
 - イ 社会教育施設等（公民館、図書館、博物館、美術館、青少年自然の家、体育施設等）
 - ウ 社会福祉施設等（老人福祉施設、児童福祉施設、身体障害者福祉施設、知的障害者福祉施設、生活保護施設、老人保健施設等、在宅看護・派遣、医療、保育等）
 - エ その他の社会体験（NPO法人、社会福祉協議会、行政部局等）

6 費 用

- (1) 旅費は、次の予算コードにて処理を行うこととする。

小学校・義務教育学校（前期課程）：1181-22、中学校・義務教育学校（後期課程）：1183-22、高等学校：1186-07、特別支援学校：0553-07

- (2) 旅費の処理を行う際、必ず用務名の先頭に「（2～3年研）」と入力する。
- (3) 研修に必要な作業着、消耗品等に要する経費は、対象者又は所属校が負担する。

7 災害補償

対象者に研修業務上の災害又は通勤による災害が発生した場合には、地方公務員災害補償法（昭和42年法律第121号）に基づき補償を行う。

8 損害賠償

対象者が研修受講中に第三者に身体や財物に損害を与えた場合（三重県教育委員会事務局が法律上の損害賠償責任を負った際）、県が加入する賠償責任保険により対応する。ただし、対象者の故意や過失による場合はこの限りでない。

9 その他

- (1) 対象者は、教育公務員としての立場を自覚し、相応しい言動に留意し、服務規律を厳正に保持する。
- (2) この要領に定めるもののほか、研修実施に必要な事項は関係者の協議によって定める。
- (3) 研修先は所属校と同一市町内の施設等とする。ただし、研修の趣旨に沿った該当の施設がなく、かつ合理的であると判断されるときは、県内の隣接する市町での研修を認める場合もある。その場合は県教育委員会事務局 研修推進課 基本研修班(059-226-3571)に確認をする。
- (4) 勤務日、勤務時間内に研修を行うことを原則とする。研修先の勤務条件に合わせなければならない場合は、校長の認める範囲において行うことができるものとする。
- (5) 緊急にやむを得ず欠席等しなければならない場合、対象者は校長の承認を得たうえで、研修先に連絡をする。
- (6) 研修先において知り得た情報は、これを漏らしてはならない。また、研修終了後も同様とする。
- (7) 以下の研修は認められない。
 - ア 親族が経営する会社や親族が所有する田畑の収穫等の手伝い、異校種の学校での研修
 - イ 宿泊を伴う研修
 - ウ 他の通常業務と兼ねて行うこと

第3回	区分	【必修】教科指導
	研修講座名	授業研究

1 ねらい

授業力の向上を図るため、校内で提案授業を行い、管理職や先輩教員等から指導・助言を受けるなど協議を行うことで、それぞれの強みの強化や弱みの克服をめざす。

2 対象者

平成30年度教職2～3年次研修対象者

3 研修内容

校内において、提案授業を1回行う。

授業後は参観した管理職や先輩教員等から指導・助言を受ける等、授業について協議、意見交換を行う。

授業・協議後は、授業力における自らの課題を明らかにし、報告書に今後の改善点等を記載する。

4 その他

(1) 学校内において行うことを原則とする。

(2) 提案授業は、いわゆる“授業”とする。

【例】提案授業にできる……各教科の授業、特別の教科 道徳、
総合的な学習の時間、学活・LHR、
小学校の外国語活動

提案授業にできない…学校行事、全校集会・学年集会、給食指導、
清掃指導、課外活動

(3) 協議後は、報告書に「参観者名（代表者でよい）、参観者数」「今後の授業に活かしたいこと」等を記載する。

(4) 平成28年度初任者研修対象者で、平成29年度に第3回「教育課題別研修」を受講完了していない者は、平成30年度は第3回「授業研究」を受講する。

第4～6回	区分	【必修】教育課題
	研修講座名	教育課題別研修

1 ねらい

対象者個々の教育課題、ニーズに合わせた研修講座を受講することにより、それぞれの強みの強化や弱みの克服をめざす。

2 対象者

平成30年度教職2～3年次研修対象者

3 研修内容

次の中から、対象者個々の教育課題、ニーズに合ったものを計3単位（1単位は2時間以上の講座）受講する。

- (1) 県教育委員会が行う諸研修（県教育委員会事務局研修担当(三重県総合教育センター)の研修講座を含む。）
- (2) 市町等教育委員会が行う諸研修（市町等教育委員会主催研修）（教育研究所等の研修講座を含む。）
- (3) 研究指定校等の研究発表会・授業研究会等
- (4) 上記(1)～(3)以外で、当該教育委員会が適切と認めたもの

4 県教育委員会事務局研修担当が実施する研修講座の受講に際しての留意事項

- (1) 各研修講座の詳細については、県教育委員会事務局研修担当(三重県総合教育センター)のWebページを参照する。
- (2) 受講可否通知（受講承諾メール）にて受講可否を確認した後に、受講する。
- (3) 申し込みの際、登録画面の備考欄に「（2～3年研）」と入力する。
- (4) 受講に係る連絡事項（持参するもの、提出物など）がある場合は、受講可否通知（受講承諾メール）またはWebページに記載するので確認する。
- (5) ブロック別研修（講座番号が「L」で始まる講座）を受講する場合は、次の点に留意する。
 - ア 研修講座に関する問い合わせや受講の申し込みは、対象者が直接各市町等教育研究所等に行う。
 - イ 受講の可否は、対象者が直接各市町等教育研究所等に確認する。

5 市町等教育委員会又は市町等教育研究所が実施する研修講座の受講に際しての留意事項

上記研修講座を受講する場合は、各市町等教育研究所等から出される実施要領・申込要領等に従い受講すること。

6 費用

- (1) 旅費は、次の予算コードにて処理を行うこととする。

小学校・義務教育学校（前期課程）：1181-22、中学校・義務教育学校（後期課程）：1183-22、高等学校：1186-07、特別支援学校：0553-07

- (2) 旅費の処理を行う際、必ず用務名の先頭に「(2～3年研)」と入力する。
- (3) 研修に必要な作業着、消耗品等に要する経費は、対象者又は所属校が負担する。

7 その他

- (1) 1単位の研修は2時間以上とする。
- (2) 次のものは教育課題別研修にはできない。
 - ・ 学校業務（学校で割り当てられる研修等を含む）としての受講や受講を義務づけられた研修
 - ・ 資格試験等
 - ・ 勤務校が実施する研究発表会、授業研究会、公開研究会等
 - ・ 県外で行われる研修
 - ・ 宿泊を伴う研修

ただし、以下の研修は平成30年度教職2～3年次研修として認める。

ア 市町等教育委員会が実施する2～3年目の教員を対象とした研修

イ 県教育委員会事務局 研修担当が実施する「英語教育推進研修」

ウ 県教育委員会事務局 研修担当が実施する「特別支援学級等新担当教員研修」の第1回及び第3回

- (3) 複数日にわたる研修は、1日ずつ1単位とすることができる。
- (4) 同一日に複数の研修（ともに2時間以上の研修講座であること）を受講した場合、それぞれの研修を1単位とすることができる。（合計2単位受講できる。）
- (5) 1つの研修が4時間以上あっても、2単位とすることはできない。

第7・8回	区分	【必修】ネットDE研修
	研修講座名	ネットDE研修

1 ねらい

最新の教育内容や、対象者個々の教育課題、ニーズに合わせた番組を受講することにより、それぞれの強みの強化や弱みの克服をめざす。

2 対象者

平成30年度教職2～3年次研修対象者

3 受講する講座（番組）

県教育委員会事務局研修担当(三重県総合教育センター)が実施している「ネットDE研修」より、次の【A】から2講座（番組）、【B】から1講座（番組）、【C】から1講座（番組）、合わせて4講座（番組）を受講する。

(1) 第7回研修（2講座で1単位）

【A】研修一覧「学校安全・危機管理」「学校経営」「コンプライアンス」「男女共同参画・次世代育成支援」「特別支援教育」「人権教育」「健康・メンタルヘルス」「学級経営」「ICT活用・情報教育」「コンピュータースキル」「教育一般」のカテゴリーの中から2講座（番組）選択し受講する。

[推奨講座（番組）]

- 「DLAからはじめる外国人児童生徒教育と社会適応」（講座番号 h29w03）
- 「通常学級で無理なくできるユニバーサルデザイン～あったかクラスづくり」（講座番号 h26w03）
- 「医療的ケアを必要とする子どもと家族が地域で暮らすこと」（講座番号 h29w04）

(2) 第8回研修（2講座で1単位）

【B】研修一覧「授業方法」「教科指導等」のカテゴリーの中から1講座（番組）選択し受講する。

[推奨講座（番組）]

- 「『特別の教科 道徳』の授業づくり」（講座番号 h29w01）
- 「プログラミング教育—入門編—」（講座番号 h29w71）
- 「これからの小学校英語教育」（講座番号 h26w12）
- 「組体操・組立体操の安全な指導について」（講座番号 h28w51）
- 「すぐに使える小学校理科基礎実験」（講座番号 h29w51）
- 「児童生徒の心に残る食の授業の作り方（消費者教育の視点から）」（講座番号 h29w02）

【C】研修一覧「生徒指導・教育相談」のカテゴリーの中から1講座（番組）選択し受講する。

[推奨講座（番組）]

- 「不登校状態の医学的背景とその対応」（講座番号 h23w09）
- 「君たちは狙われている！～高校生諸君に送る弁護士菊池幸夫の消費者講座」（講座番号 h27w04）

※「授業の達人、7つの原則！～子どもが生き生きする「授業」づくり～」
（講座番号 h27w03）、「これで安心！新任先生のための8つの心構え」
（講座番号 h26w02）を再度視聴してもよい。

4 受講に際しての留意事項

ネットDE研修の受講に際しては、次のことに留意する。

- (1) 2講座（番組）の受講で1単位とする。1単位の受講を複数日に分散させることができる。
- (2) 1単位の受講は同一年度に完了する。（複数年度にまたがらない。）
- (3) 勤務日に勤務校で受講する。
- (4) 平成28年度初任者研修対象者で、平成29年度に第7回「ネットDE研修」を受講完了していない者は、平成30年度の本要項で指定した番組で受講する。第8回「ネットDE研修」についても同様である。

《台風時、南海トラフ地震、弾道ミサイル発射等 非常時における研修講座の実施について》

1. 「特別警報」「暴風警報」「暴風雪警報」発表や解除の状況による研修講座の実施の有無について

- 「特別警報」「暴風警報」「暴風雪警報」の発表や解除の状況によって、次のように対応します。

	「特別警報」「暴風警報」「暴風雪警報」の発表と解除の状況	講座実施の有無
①	午前7時までに県内の <u>全ての地域</u> において、「特別警報」「暴風警報」「暴風雪警報」が解除された場合	実施
②	午前7時を過ぎても県内の <u>いずれかの地域</u> に「特別警報」「暴風警報」又は「暴風雪警報」が継続して発表されている場合	中止
③	午前7時から午前10時までの間に県内の <u>いずれかの地域</u> に「特別警報」「暴風警報」又は「暴風雪警報」が発表された場合	中止
④	午前10時以降に県内の <u>いずれかの地域</u> に「特別警報」「暴風警報」又は「暴風雪警報」が発表された場合	直ちに中止

※午後からの半日講座については、午前7時→午前9時、午前10時→午後1時と読み替えます。

※ブロック別研修の実施の有無については、研修講座を開催する各教育研究所等の規定または判断によるものとします。

2. 「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」の発表による研修講座の実施の有無について

- ・研修等は原則予定通り実施します。ただし、各学校において情報収集に努める必要があることから、各学校の対応状況を確認のうえ、校長、園長等の指示に従い、可能であれば来所してください。
- なお、研修等を欠席する場合には、担当する班に連絡してください。

3. 「弾道ミサイル発射にかかる全国瞬時警報システム（Jアラート）」による情報伝達の状況による研修講座の実施の有無について

- 「弾道ミサイル発射にかかる全国瞬時警報システム（Jアラート）」による情報伝達の状況によって、以下の（1）～（3）のように対応します。また、研修等の実施中にJアラートが作動した場合は、センター職員の指示に従ってください。

（1）「日本（三重県以外）の上空を通過した場合」及び「日本の領海外の海域に落下した場合」

- ・研修等は予定通り実施します。Jアラートによる情報を確認した上で、交通状況等の情報を収集し、安全を確認し来所してください。

（2）「三重県の上空を通過した場合」

- ・研修等は原則予定通り実施します。児童生徒等の不安への対応等、各学校、園等で何らかの対応が必要になることも想定されることから、研修等を受講するか否かについては、校長、園長等の指示に従ってください。
- なお、研修等を欠席する場合には、担当する班に連絡してください。

（3）「日本の領土に落下した場合」

- ・研修等は中止します。

4. 代替講座について

- ・基本研修については、後日に代替講座を実施します。
- ・基本研修以外については、原則中止とします。ただし、必要があれば代替講座を実施します。
- ・代替講座を実施する場合は、後日に連絡します。

【問い合わせ先】 研修推進課 基本研修班 059-226-3571・3695

平成30年度

教職2～3年次研修

提出書類様式

※この様式は、県総合教育センターWeb ページよりダウンロードすることができます。

1 研修講座 → 15 提出書類様式 → 3 教職2～3年次研修

(様式1)

	平成29年度初任者研修対象者(2年次)
	平成28年度初任者研修対象者(3年次)

平成30年度 教職2～3年次研修 研修受講計画書

所属コード		提出日	平成30年 月 日
学校名		対象者職員番号	
校長名		対象者名	

○社会体験(2単位) ※1日は5時間以上の研修

研修先選定理由			
回	研修講座名	研修の概要	
1	社会体験研修	研修先 (住所)	三重県
		実施日時	月 日
		内容	
2	社会体験研修	研修先 (住所)	三重県
		実施日時	月 日
		内容	

○授業研究(1単位) ※原則1限分の提案授業と事後協議

回	研修講座名	研修の概要			
3	授業研究□	提案授業予定日限	月 日	限目	教科名
		授業改善に向けて、取り組みたいこと			授業参観者名 (予定)

※平成28年度初任者研修対象者で、平成29年度に第3回「教育課題別研修」を受講完了していない者は、平成30年度は第3回「授業研究」を受講する。

○教育課題(3単位) ※1単位は2時間以上の研修講座

4	教育課題別研修□	講座番号		実施日時	月 日
		研修講座名			
		会場		主催者	
5	教育課題別研修□	講座番号		実施日時	月 日
		研修講座名			
		会場		主催者	
6	教育課題別研修□	講座番号		実施日時	月 日
		研修講座名			
		会場		主催者	

○ネットDE研修(2単位) ※2講座(番組)受講で1単位

7	ネットDE研修	講座番号	h	実施日	
		講座名		主催者	三重県教育委員会
		講座番号	h	実施日	
		講座名		主催者	三重県教育委員会
8	ネットDE研修	講座番号	h	実施日	
		講座名		主催者	三重県教育委員会
		講座番号	h	実施日	
		講座名		主催者	三重県教育委員会

(様式2)

平成29年度初任者研修対象者(2年次)
平成28年度初任者研修対象者(3年次)

平成30年度 教職2～3年次研修 研修受講報告書

所属コード	提出日	平成 年 月 日
学校名	対象者職員番号	
校長名	対象者名	

回	研修講座名	研修の概要		研修をとおして学んだことや今後の教育活動で活かしたいこと
1	社会体験研修	研修先		
		住所		
		実施日	月 日	
		実施時間	～	
2	社会体験研修	研修先		
		住所		
		実施日	月 日	
		実施時間	～	
3	授業研究	提案授業 実施日限	月 日 限目	(※提案授業や事後協議をとおして学んだことや今後の授業に活かしたいこと等を記入)
		教科名		
		授業参観者	他 () 名	
4	教育課題別研修	講座番号		
		研修講座名		
		主催者		
		実施日	月 日	
		実施時間	～	
5	教育課題別研修	講座番号		
		研修講座名		
		主催者		
		実施日	月 日	
		実施時間	～	
6	教育課題別研修	講座番号		
		研修講座名		
		主催者		
		実施日	月 日	
		実施時間	～	
7	ネットDE研修	講座番号	h	◇本年度の教職2～3年次研修全体を振り返ってお答えください。(2年次・3年次対象者とも) ①研修で学んだことを自らの実践に活用できますか。 <input type="checkbox"/> 1. できる 2. どちらかというところ <input type="checkbox"/> 3. どちらかというところできない 4. できない
		実施日	月 日	
		講座番号	h	
		実施日	月 日	
8	ネットDE研修	講座番号	h	②教職2～3年次研修全体を総合的に判断。 <input type="checkbox"/> 1. 満足 2. どちらかというところ <input type="checkbox"/> 3. どちらかというところ不満 4. 不満
		実施日	月 日	
		講座番号	h	
		実施日	月 日	

☆2年次対象者のみお答えください。

(1) 2年目を終え振り返り、初任者研修の中で、あなたが役に立った、活用できる(できた)と思う研修内容はどれですか。(複数回答可)

【番号を記入:】

①教職員の修養 ②教職員の服務 ③危機管理 ④教職員のメンタルヘルス ⑤教育の対する心構え ⑥学習指導要領と教育課程 ⑦キャリア教育 ⑧生徒指導実践研修 ⑨授業実践研修 ⑩防災教育 ⑪特別支援教育 ⑫人権教育 ⑬児童生徒理解 ⑭手話を通したコミュニケーション ⑮学校・学級経営 ⑯ICT活用 ⑰教職員としての生き方・あり方 ⑱その他 ()

(2) 初任者の時に学ばなかった研修内容等がありましたら、お書きください。(自由記述)

(様式1)

記入例(2年次)

2年次に○

○平成29年度初任者研修対象者(2年次)
平成28年度初任者研修対象者(3年次)

平成30年度 教職2~3年次研修 研修受講計画書

所属コード		提出日	平成30年 月 日
学校名		対象者職員番号	
校長名		対象者名	対象教諭 ごとに別葉

○社会体験(2単位) ※1日は5時間以上の研修

研修先選定理由	※研修先を選定した理由や研修のねらいについて、自分のことばで記述する。		
回	研修講座名	研修の概要	
1	社会体験研修	研修先(住所)	〇〇観光ホテル 三重県〇〇市
		実施日時	夏季休業中 わかる範囲で記入
		内容	ホテルでの接客業体験
2	社会体験研修	研修先(住所)	※平成30年度、受講を計画しているものを記入する。 (来年度以降受講予定のものは記入しない。 また、本年度受講する予定がまったくない場合は空欄で提出する。)
		実施日時	
		内容	

○授業研究(1単位) ※原則1限分の提案授業と事後協議

回	研修講座名	研修の概要			
3	授業研究□	提案授業予定日限	6月29日 3限目	教科名	国語
		授業改善に向けて、取り組みたいこと	※授業改善に向けて、自己の課題や取り組みたいことなど、自分のことばで記述する。		
		授業参観者名(予定)	〇〇〇〇 提案授業の参観者の名前を記入する。 複数の場合は、代表1名の名前を記入。 (予定でよい)		

※平成28年度初任者研修対象者で、平成29年度に第3回「教育課題別研修」を受講完了していない者は、平成30年度は第3回「授業研究」を受講する。

○教育課題(3単位) ※1単位は2時間以上の研修講座

4	教育課題別研修□	講座番号	K0301	実施日時	7月3日
		研修講座名	授業づくり(小学校社会)		
		会場	〇〇市立〇〇小学校	主催者	三重県教育委員会
5	教育課題別研修□	講座番号	L1001	実施日時	8月22日
		研修講座名	学校における生徒指導・教育相談の進め方		
		会場	〇〇市教育研究所	主催者	〇〇市教育委員会
6	教育課題別研修□	講座番号	1234	実施日時	8月22日
		研修講座名	学級づくり		
		会場	〇〇町民センター	主催者	〇〇町教育委員会

○ネットDE研修(2単位) ※2講座(番組)受講で1単位

7	ネットDE研修	講座番号	h28w51	実施日時	夏季休業中
		講座名	組体操・組立体操		
		講座番号	h29w03	実施日時	夏季休業中
		講座名	DLAからはじめる外国人児童生徒教育と社会適応		
8	ネットDE研修	講座番号	h29w01	実施日時	
		講座名	『特別の教科 道徳』の授業づくり		
		講座番号	h26w02	実施日時	
		講座名	これで安心! 新任先生のための8つの...		

- ・「研修受講計画書」は、平成30年度に受講する研修についてのみ作成する。
- ・対象者は校長の指導、助言を得て作成する。
- ・「研修受講計画書」の提出後に研修内容等を変更する場合は、対象者は校長と相談のうえ決定する。その場合、「研修受講計画書」を再度提出する必要はない。

(様式2)

記入例(2年次)

2年次に○

○平成29年度初任者研修対象者(2年次)
平成28年度初任者研修対象者(3年次)

平成30年度 教職2～3年次研修 研修受講報告書

所属コード	提出日	平成 年 月 日
学校名	対象者職員番号	
校長名	対象者名	対象教諭 ごとに別表

回	研修講座名	研修の概要		研修をとおして学んだことや今後の教育活動で活かしたいこと
1	社会体験研修	研修先	○○観光ホテル	フロント業務や料理の配膳などを体験する中で、小さな仕事も相手の立場に立って丁寧に心を込めてやり遂げることの大切さや、もてなしの心を学んだ。 ・5時間以上(5時間以上受講したことがわかるように記入する。)
		住所	三重県○○市○○町・・	
		実施日	8月 3日	
		実施時間	10:00 ~ 17:00	
2	社会体験研修	研修先		※本年度受講したものについてのみ記入する。 (未受講のものについては記入しない。)
		住所		
		実施日		
		実施時間	～	
3	授業研究	提案授業 実施日限	6月 29日 3限目	(※提案授業や事後協議をとおして学んだことや今後の授業に活かしたいこと等を記入) 提案授業の参観者の名前を記入する。複数の場合は、代表1名の名前を記入し、参観者数を記入する。
		教科名	国語	
		授業参観者	○○ ○○ 他 (3) 名	
4	教育課題別研修	講座番号	K0301	○○小学校6年生児童に対する講師先生の示範授業を参観し、その後事後検討会に参加した。子どもたちの考えや発言を引き出す発問や教材研究の仕方について学ぶことが多かった。今後の自分の教壇づくりや授業づくりには活かしていきたい。 ・2時間以上の講座で1単位とすることができる。(受講時間がわかるように記入する。)
		研修講座名	授業づくり(小学校社会)	
		主催者	三重県教育委員会	
		実施日	7月 3日	
		実施時間	13:30 ~ 17:00	
5	市町等教育委員会等主催の研修講座は、講座番号があれば記入。なければ空欄でよい。	講座番号	T020101	通常学級で無理なくできるユニバーサルデザインについての講義を受講した。明日からでも実践できるアイデアがたくさんあり、今後の自分の学級づくりに大切な視点が得られた。 「研修受講報告書」は平成30年度に受講した研修についてのみ作成する。 ・対象者は、校長の指導、助言を得て作成する。
		通常学級における特別支援教育「クラスづくり編」		
		主催者	三重県教育委員会	
		実施日	8月 22日	
6	教育課題別研修	講座番号	1234	通常学級で無理なくできるユニバーサルデザインについての講義を受講した。明日からでも実践できるアイデアがたくさんあり、今後の自分の学級づくりに大切な視点が得られた。 ・2時間以上の講座で1単位とすることができる。(受講時間がわかるように記入する。)
		研修講座名	学級づくり	
		主催者	○○町教育委員会	
		実施日	8月 27日	
7	ネットDE研修	講座番号	h28w51	◇本年度の教職2～3年次研修全体を振り返ってお答えください。(2年次・3年次対象者とも) ①研修で学んだことを自らの実践に活用できますか。 1. できる 2. どちらかというところ 3. どちらかというところできない 4. できない ②教職2～3年次研修全体を総合的に判断。 1. 満足 2. どちらかというところ 3. どちらかというところ不満 4. 不満
		実	本年度の教職2～3年次研修全体を振り返って(プルダウンで数字を選択する)	
		実		
8	ネットDE研修	実施日	8月 23日	
		講座番号	h28w03	
		実施日	9月 3日	

☆2年次対象者のみお答えください。

(1) 2年目を終え振り返り、初任者研修の中で、あなたが役に立った、活用できる(できた)と思う研修内容はどれですか。(複数回答可)

【番号を記入：⑤⑦⑧⑩】

①教職員の修養 ②教職員の服務 ③危機管理 ④教職員のメンタルヘルス ⑤教育の対する心構え ⑥学習指導要領と教育課程 ⑦キャリア教育 ⑧生徒指導実践研修 ⑨授業実践研修 ⑩防災教育 ⑪特別支援教育 ⑫人権教育 ⑬児童生徒理解 ⑭手話を通したコミュニケーション ⑮学校・学級経営 ⑯ICT活用 ⑰教職員としての生き方・あり方 ⑱その他()

(2) 初任者の時に学ばなかった研修内容等がありましたら、お書きください。(自由記述)

(様式1)

記入例(3年次)

3年次に○

平成29年度初任者研修対象者(2年次)

○ 平成28年度初任者研修対象者(3年次)

平成30年度 教職2～3年次研修 研修受講計画書

所属コード		提出日	平成30年 月 日
学校名		対象者職員番号	
校長名		対象者名	対象教諭 ごとに別業

○社会体験(2単位) ※1日は5時間以上の研修

研修先選定理由	※研修先を選定した理由や研修のねらいについて、自分のことばで記述する。		
回	研修講座名	研修の概要	
1	社会体験研修	研修先(住所)	※平成30年度、受講を計画しているものを記入する。 (平成29年度に受講完了したものは記入しない。)
		実施日時	
		内容	
2	社会体験研修	研修先(住所)	○○観光ホテル 三重県○○市
		実施日時	夏季休業中 わかる範囲で記入
		内容	ホテルでの接客業体験

○授業研究(1単位) ※原則1限分の提案授業と事後協議

回	研修講座名	研修の概要			
3	授業研究□	提案授業予定日限	6月29日	3限目	教科名 国語
		授業改善に向けて、取り組みたいこと	※授業改善に向けて、自己の課題や取り組みたいことなど、自分のことばで記述する。		
		授業参観者名(予定)	○○ ○○		

※平成28年度初任者研修対象者で、平成29年度に第3回「教育課題別研修」を受講完了していない者は、平成30年度は第3回「授業研究」を受講する。

○教育課題(3単位) ※1単位は2時間以上の研修講座

4	教育課題別研修□	講座番号		実施日時	月 日
5	教育課題別研修□	研修講座名	平成29年度に3～5回(教育課題別研修)の3単位を受講完了した場合には、第6回の欄から計画を記入する。	※平成30年度、受講を計画しているものを記入する。 (平成29年度に受講完了したものは記入しない。)	
		会場			
6	教育課題別研修□	講座番号	1234	実施日時	8月22日
		研修講座名	学級づくり	主催者	○○町教育委員会
		会場	○○町民センター		

○ネットDE研修(2単位) ※2講座(番組)受講で1単位

7	ネットDE研修	講座番号	h28w51	主催者	夏季休業中 三重県教育委員会
		講座名	組体操・組立体操の女		
		講座番号	h29w03	主催者	夏季休業中 三重県教育委員会
		講座名	DLAからはじめる外国人児童生徒教育と社会適応		
8	ネットDE研修	講座番号	h29w01	主催者	夏季休業中 三重県教育委員会
		講座名	『特別の教科 道徳』の授業		
		講座番号	h29w02	主催者	夏季休業中 三重県教育委員会
		講座名	これで安心！新任先生のための心構え		

- ・「研修受講計画書」は、平成30年度に受講する研修についてのみ作成する。
- ・対象者は校長の指導、助言を得て作成する。
- ・「研修受講計画書」の提出後に研修内容等を変更する場合は、対象者は校長と相談のうえ決定する。その場合、「研修受講計画書」を再度提出する必要はない。

(様式2)

記入例(3年次)

3年次に○

平成29年度初任者研修対象者(2年次)

○平成28年度初任者研修対象者(3年次)

平成30年度 教職2～3年次研修 研修受講報告書

所属コード	提出日	平成 年 月 日
学校名	対象者職員番号	
校長名	対象者名	

対象教諭
ごとに別業

回	研修講座名	研修の概要	研修をとおして学んだことや今後の教育活動で活かしたいこと
1	社会体験研修	研修先	※本年度受講したものについてのみ記入する。 (昨年度受講完了したものについては記入しない。)
		住所	
		実施日	
		実施時間	
2	社会体験研修	研修先	フロント業務や料理の配膳などを体験する中で、小さな仕事も相手の立場に立って丁寧に心を込めてやり遂げることの大切さや、もてなしの心を学んだ。 ・5時間以上 (5時間以上受講したことがわかるように記入する。)
		住所	
		実施日	
		実施時間	
3	授業研究	提案授業 実施日限	※平成28年度初任者研修対象者で、平成29年度に第3回「教育課題別研修」を受講完了していない者は、平成30年度は第3回「授業研究」を受講する。
		教科名	
		授業参観者	
4	教育課題別研修	講座番号	・「研修受講報告書」は平成30年度に受講した研修についてのみ作成する。
		研修講座名	
5	教育課題別研修	研修講座名	
		主催者	
		実施日	
		実施時間	
6	教育課題別研修	講座番号	○○小学校6年生児童に対する講師先生の示範授業を参観し、その後事後検討会に参加した。子どもたちの考えや発言を引き出す発問や教材研究の仕方について学ぶことが多かった。今後の自分の教材づくりに活かしたい。 ・2時間以上の講座で1単位とすることができる。 (受講時間がわかるように記入する。)
		研修講座名	
		主催者	
		実施日	
7	ネットDE研修	講座番号	◇本年度の教職2～3年次研修全体を振り返ってお答えください。 (2年次・3年次対象者とも) ①研修で学んだことを自らの実践に活用できますか。 1. できる 2. どちらかというところ 3. どちらかというところできない 4. できない ②教職2～3年次研修全体を総合的に判断。 1. 満足 2. どちらかというところ満足 3. どちらかというところ不満 4. 不満
		実施日	
		実施時間	
		実施場所	
8	ネットDE研修	実施日	本年度の教職2～3年次研修全体を振り返って(ブルダウンで数字を選択する)
		講座番号	
		実施日	

☆2年次対象者のみお答えください。

(1) 2年目を終え振り返り、初任者研修の中で、あなたが役に立った、活用できる(できた)と思う研修内容はどれですか。(複数回答可)

【番号を記入: _____】 3年次対象者は回答しなくてよい。

- ①教職員の修養 ②教職員の服務 ③危機管理 ④教職員の働き方 ⑤教職員のキャリア教育 ⑥学習指導要領と教育課程 ⑦キャリア教育 ⑧生徒指導実践研修 ⑨授業実践研修 ⑩防災教育 ⑪特別支援教育 ⑫人権教育 ⑬児童生徒理解 ⑭手話を通したコミュニケーション ⑮学校・学級経営 ⑯ICT活用 ⑰教職員としての生き方・あり方 ⑱その他()

(2) 初任者の時に学びたかった研修内容等がありましたら、お書きください。(自由記述)